

目次

御挨拶

浄土門主

伊藤 唯眞

巻頭のごとは

浄土宗宗務総長

川中 光教

iii

第一部 法然浄土教の源流

仏教における聖典解釈の伝統と浄土宗義

——説一切有部論書と『選択集』の対比を中心に——

本庄 良文

3

浄土宗と『無量寿経』

齊藤 舜健

25

『観無量寿経』をめぐる諸課題

袖山 榮輝

53

『阿弥陀経』が与えた法然上人への影響

中御門敬教

73

法然上人における大乘経典の受容について

石田 一裕

89

龍樹と世親

森山 清徹

105

浄土初祖 曇鸞大師

石川 琢道

139

道 綽

曾和 義宏

157

迦才について

工藤 量導

189

善導の『観経疏』

柴田 泰山

207

善導大師の浄土教儀礼

懷感『釈浄土群疑論』における浄土教理

法然所引の宋代浄土教典籍

奈良時代の阿弥陀信仰

比叡山における浄土教の勃興と展開

源信『往生要集』と法然浄土教

念仏宗の永観

易往を求めた珍海、易行を極めた法然

第二部 浄土宗開宗の意義

法然上人思想史の回顧と展望

法然上人の阿弥陀仏観——研究動向を中心に——

法然浄土教および浄土宗教団と本覚思想

法然浄土教における諸行往生論争

浄土宗の開宗について

法然と三昧発得

齊藤 隆信

長尾 光恵

加藤 弘孝

伊藤 茂樹

和田 典善

南 宏信

齋藤 蒙光

成瀬 隆順

林田 康順

曾根 宣雄

安達 俊英

市川 定敬

春本 龍彬

小川 法道

233

261

281

303

327

347

373

385

401

431

457

481

505

523

第三部 列祖における法然上人

二祖聖光上人の生涯と思想

良忠上人における法然上人顕彰

浄土宗義の伝承——聖岡、聖聰が伝えた教え——

郡嶋 昭示 541
大橋 雄人 561
服部 淳一 627

第四部 浄土宗教団の成立と展開

法然上人の布教伝道

「建永・嘉禄の法難」事件と「専修念仏禁止令」

法然遺文について

初期法然伝の研究史

法然門下の関東武士——熊谷蓮生の「夢の記」を中心に——

法然教団の諸系譜

中世浄土宗の実態——法然浄土教からの乖離——

浄土宗の談林・檀林について

江戸時代の信仰と教化

あとがき

浄土宗教学院理事長

本庄 良文 845

伊藤 真宏 651
坪井 剛 675
中野 正明 699
善 裕昭 719
小此木輝之 743
野村 恒道 757
伊藤 真昭 777
宇高 良哲 803
長谷川匡俊 827